

学校関係者評価書

大阪市立三先小学校
学校関係者評価委員会

1. 全体のまとめ

- 学校アンケートや検証資料の結果からも、学校が地域の子ども達の育成のために、開かれた学校として教育活動を工夫し、計画的に組織的に行っていることが評価できる。
- 「学校だより」やホームページ、PTAだより、はぐくみ通信等で、学校の様子を知ることができている。学校関係者評価委員会で配付された研究紀要、教育指導の計画から教職員が頑張っていることがよく分かった。

2. 項目別評価について

(1) 学校経営の重点	(2) 学習指導の重点
「よく考え、進んでやりぬく心豊かな子ども」を育てるために、学校はよく取り組んでいる。	教職員が研究紀要にあるように、また教育指導の計画の最終評価のAからも努力していることがよく分かった。
(3) 生活指導の重点	(4) 保健管理・指導の重点
学校だけではなく、家庭教育にも課題があると感じている。例えば、寒い日の服装がずっと変わらない子どもも見られる。	保護者に呼びかけていけばよいと思う。学校保健委員会を行っていること、どんなふうを実施しているかを知ることができた。
(5) 研修の重点	(6) 道徳の重点
教職員が研修に努めていることがよく分かった。今後も子ども達のために頑張ってもらいたい。	道徳が大切だと思う。授業だけではなく、教育活動全般で取り組んでいると聞いて心強く感じた。今後も是非継続してほしい。
(7) 特別活動の重点	(8) 総合的な学習の重点
自主性を育てるために、いろいろな取り組みをしていることがよく分かった。たてわり班とはどういうものか理解できた。	「開かれた学習」で協力できることがあれば地域として協力していく。いつでも言ってきてほしい。いろいろな学習をしなくてはいけないので大変だと思う。
(9) 努力目標	
生活指導と同様に家庭教育と深く関わっている。しっかりと学校が保護者を啓発していくことが大切だと思う。	

3. 今後の改善方策について

- 地域の学校として、保護者、地域も一体となって子ども達のためにできることを取り組んでいくように支援していきたい。特に、学校行事には、これからもできる限り参加するようにしたい。
- 学力、生活習慣、社会的規範の向上を目指して、継続した指導を行ってほしい。
- 作成された学校関係者評価年間計画をもとに、来年度も協力していきたい。